

平成23年度山口、坂下、川上地区女性懇談会議事録

開催日時	平成23年11月15日（火曜日） 19時00分 ～ 21時10分
開催場所	川上かたらいの里 集団指導室
出席者	市民：30名（坂下15名、川上10名、山口5名） 行政：大山市長、林出先統括監、杉本坂下総合事務所長、日下部川上総合事務所長、末木山口総合事務所長、伊藤広報広聴課長 〔同席者〕 進捗管理課、広報広聴課、秘書課、山口総合事務所、坂下総合事務所企画振興課、川上総合事務所

■司会者（川上 ●●さん）

ただいまより、平成23年度山口、坂下、川上地区女性懇談会を開催いたします。

■市長あいさつの概要

- ・ 人口の減少をいかに食い止めていくか
- ・ 人口が高齢化、少子化が進んでいる。高等学校の統廃合も出ている。
- ・ 中津川市独自のUIターン住宅に取り組む。山口、川上で展開している。
- ・ 椿街道H25開通予定、神坂スマートインター整備の光をどう生かすか、16年先のリニア開通を見据えて地域発展を実現することが大事。
- ・ 財政は職員の頑張りにより1,080人の職員を6年間で220人減少することで人件費減少16億円である
- ・ 人件費の減少額で中学生の医療費無料化で2億円、医師・看護師確保に1億6300万円、中学校耐震化、インフルエンザ助成2,000万円、住宅耐震化取組・家具の転倒防止等の施策サービスを行い8億円を使っている。
- ・ 残り8億円を返済に充て合併後193億円借金の返済を行っている
- ・ 病院事業で市民病院8億円、坂下病院4億円の繰入を行い病院を支えている。
- ・ 名古屋大学総合診療部に働きかけ阿木・川上診療所で総合医の仕事を行っていただく
- ・ 保健・医療・介護を一緒になってやる拠点として地域総合医療センターを開設
- ・ 12月補正に上げますが名古屋大学医学部に資金を提供し保健・医療・介護を結びつけた研究をしていただくように進めている
- ・ 県下の市立公立病院の医師総数58名は県下では一番である
- ・ 産科については恵那市・中津川市で医師4名が13万人をみている
- ・ 全国的な産科医師不足により里帰り出産をお断りしているのは本意ではない
- ・ 市内図書館の状況説明
- ・ 市行政のバランスを取りながら行っている

■自己紹介

■司会者（川上 ●●さん）

■要望事項進捗状況についてはお手元への資料配布で説明は省略させていただきます。

■地区トピックスについてはお手元への資料配布で説明は省略させていただきます。

■懇談 進行（川上 ●●さん）

これより懇談を始めますが、発言は挙手をしていただき地区名と所属、氏名を言ってから質問してください。

発言者	発言要旨	対応者	対応(回答)の内容
[坂下] ●●さん	<p>(障害者短期入所)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重度心身障害児（●●君 13 歳恵那特別支援学校在籍）の短期入所できる医療機関が現在東濃地区では土岐市で 1 施設（土岐市立総合病院）が対応しているのみで、県内でも 4 施設の状況である。 ・坂下病院で短期に預かっていただいたことがあったが病院の体制が重度の方を預かる体制ではない為無理がある。 ・県でも同様の要望が出されているようであるがその動向にあわせて、中津川市で対応できる施設を検討願いたい。 	市長	<ul style="list-style-type: none"> ・「安心できる温かい福祉のまちをつくります」を公約に掲げています。 ・福祉は狭く深く行う必要がある。 ・旧町村からの発達支援センター“どんぐり”と養護訓練センター“つくしんぼ”の市内 5 か所で小学校入学前の障害児の能力開発を行っている ・障害・介護の短期入所を縦割り行政しない方針で対応する方法を進めたい ・県の進める流れでなく県会議員に依頼し障害者も高齢者介護も一緒に組み立てて近くで対応できる方法を検討したい
[坂下] ●●さん	<p>※上記関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関でしか対応できないのだから坂下病院で対応するようにしてほしい 	市長	<ul style="list-style-type: none"> ・受入のための道筋をつけ、受入先も患者の状況を把握し体制づくりをする必要があり組立検討が必要 ・専門部署を設けることは坂下病院の経営からしても無理がある ・病院の短期受入システムとしても高齢者介護、障害者含めて組立を考えたい

<p>[川上]</p> <p>●●さん</p>	<p>(UI ターン者用住宅の募集条件について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、川上では旧総合事務所跡地にUIターン者用住宅が建設されています。 <p>しかし、駐在所、農協等が無くなり保育園・小学校も学校規模適正化のなかでどうなっていくのかわからない中で入居する人があるでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募集チラシの条件を見ると入居予定者及び同居者が35歳以下、5年以内に川上に定住してくれる人等、非常に厳しいものです。 ・園児の親でも35歳以上が多く入居できない。入居条件の年齢見直しは出来ないか。 	<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国、県ではやらない中津川市独自のUIターン者用住宅であり高齢化率の高い地域に作ってきた。 ・神坂スマートインターチェンジ建設及びリニアの活用もあり坂下地区あたりに製造業を誘致し働く場所を確保したい ・他地域でも要望があったが条件については今は施策としてこの条件でやりたい。 ・もう少し様子を見させていただきたい。
<p>●●さん</p>	<p>(公共の遊び場の設置)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・椿街道が完成すると交通量が多くなり安心して子供を遊ばせる場所が必要になる。 ・学校、幼稚園以外で子供が遊んでいる姿を見ることがない。 ・国道坂道が多い山口に乳幼児を抱える親が安心して子供を遊ばせる公園がない。都会から移り住んでもらう為には、子どもに優しい地域づくりも大切な条件の一つではないだろうか。 ・ぜひ子供が安心して遊べる場所を設置してほしい。 	<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公園だけ作っても無駄になる可能性もあるので公園にとらわれず、学校や幼稚園など公共的な施設は開放して遊べる場所を確保したい ・坂本では児童館をふれあい館として高齢者にも利用していただき子供との交流をしていただいている ・多くの市民の意見を聞いて考えたい

<p>[坂下] ●●さん</p>	<p>(バス運行時間帯)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土、日曜日の部活動や地域のイベント等への参加をしているが、帰りの時間帯にバスが無く、友達の家で時間をつぶすなどして不便を感じている話がPTAの中から出ているので、バス業者への依頼をお願いしたい。 	<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バス運行の頻度を増やせということだと事業者の考えなので市では言えない ・バス会社は営業しているので数人しか乗らないバスの頻度を増やすことは営利企業であるバス会社では無理であると思う。頻度を上げようとする税金を投入しなければならなくなる ・坂下地域のコミュニティバスでは2000万円以上の税金が投入されている ・市内では互助交通として半ボランティアで阿木と福岡を対象を老人中心にして実験を行っている ・互助交通の白ナンバー、半ボランティア運行には営利事業者からの注文もついている。 ・互助交通の組立のなかに高校生等の利用者側も入っていただきバスとタクシーの中間で組立てる等検討し組立てるとよいかもしれない。利用者側でも部活の時間帯等の検討をして欲しい。

<p>[川上] ●●さん</p>	<p>(学校規模適正化について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川上でも3月30日に学校規模適正化説明会が開かれ120名あまりの住民が参加いたしました。 ・保育園・小学校の維持は住民にとっては今後の地域コミュニティ維持のためとても大切な問題です。 ・適正化のねらい「ふるさと意識」を育み、少子化に対応した教育・保育の環境を作るとあるが統合した坂下中学校では子供の「ふるさと意識」が薄れてしまった。 ・地域に必要性のある小学校を無くすのではなく子供を増やし学校を維持する施策を進めるのが行政の市民に対する姿勢ではないか ・市民の半数が必要としない図書館建設より住民のほとんどが必要としている小学校を維持してください。 	<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校を作るか図書館を作るかについては学校です。しかし学校も図書館も作れないか。それくらい造る市でなければならぬ。 ・ふるさと意識は大事、それを育むのは幼稚園、保育園、小学校低学年であると思います ・小学校はそれぞれの故郷に一つ必要 ・教育委員会が気にするのは小規模校におけるコミュニケーション能力、競争力不足 ・PTCAが重要である ・神坂インターチェンジをテコに、リニア停車駅、リニア車両基地をよりどころとして雇用の増大、関連技術者等の定住を推進したい ・教育委員との会話のなかで小学校を維持する為に「金の事は気にするな」と言っている ・子供の将来を考えながら川上に保育園、小学校を維持できるように考えます ・川上の地域に継続して人が住み地域として成り立つようにしたい、その中で学校は必要である。
----------------------	---	-----------	--

<p>[山口] ●●さん</p>	<p>(坂下病院産婦人科の開設及び里帰り出産の受け入れ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎回出されている意見だと思うが、安心して子どもを生むために、坂下病院に産婦人科を開設して欲しいし、里帰り出産ができるようにしてほしい。 ・ 近くに総合病院があるのに市民病院まで行かなくてはいけないのは不便である。 	<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出産は安心できる実家周辺で行うのが良いと思う ・ 中津川市民病院は名古屋大学に坂下病院は愛知医科大学に医師派遣のお願いをしている ・ 日本全体の産科医の不足 ・ 院外助産院の検討も行う必要がある ・ 坂下病院の高山先生と相談していきたい
------------------	--	-----------	--

■市長総括の概要

- ・ 街中の課題、中山間地域の旧町村の課題も存在するので合併後6年が過ぎ街中、周辺部お互いが努力し理解しあい問題解決していきたい。
- ・ 平成26年が終わると国からの交付税が35億円減ります。
- ・ 今のうちに財政基盤をしっかりしなければならない
- ・ メリハリをつけて中津川市を運営しなければならない
- ・ 皆さんと議論しながら納得していただきながら必要なサービスを維持しながら行政を進めていきたい。

■閉会のことば … (川上 ●●さん)

これで、平成23年度山口、坂下、川上地区合同女性懇談会を閉会いたします。